

平成24年度事業計画書

平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人 オーシャンファミリー海洋自然体験センター

1 事業実施の方針

海は、地球の物質循環・生物生態系をささえる基盤であり、環境作用の終末でもある。そして、子どもは社会の鏡であり、海と子どもが良くなれば地球環境と人類社会は良くなる。葉山町においては、海辺の町の次世代育成活動モデル作りとして、今年度も葉山キッズプログラム4事業を継続。B&G葉山海洋クラブとしては、江ノ島との交流も含め親子、一般向けに海洋環境教育・自然体験活動を実施。上記の事業実施に向けて指導者養成を積極的に展開する。昨年に引き続き、セミナーの開催や海岸清掃などの活動を通して、環境保全に対する意識を高める事業を展開する。今年度も三宅島でサマースクールを開催。また、教育支援協会との連携事業も三宅島、三浦、葉山で6事業を予定。離島振興のための次世代育成の支援を継続していく。また、全国的においては、思いを同じくする地域・団体・個人と積極的に交流、連携していく。東日本大震災復興に対して、引き続きできる限り支援活動を継続していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
子どもたちへの環境教育活動事業Ⅰ(葉山キッズプログラム事業)	①「葉山マリンキッズ」は、月1回の通年活動、小学生を対象にした海辺の自然体験教室。 ②「葉山ニッパーズ」は、週1回の放課後活動、小学生対象の海辺のスポーツ教室。3グループ(月、火、水) ③「葉山海洋スポーツ塾」月2回の通年活動、小学3年生～18歳対象のライフセービング・マリンレクリエーション教室。(日) ④「さざなみ教室」月1回活動、未就学児と保護者対象の海辺の自然体験教室(土) 地域の団体と連携し、地域の豊かな自然を楽しむ、学ぶ活動。活動を通じて、環境保護、環境保全、文化の継承など次世代に向けて子どもを育てる啓発活動を行う。	通年	神奈川県 葉山町	年間延べ200名程度	葉山町および近隣 ①小学生 20名 ②小学生 50名 ③小3年生～18歳 15名 ④未就学児と保護者(家族) 15組(40名)	5,000
子どもたちへの環境教育活動事業Ⅱ(宿泊型海洋環境教育事業「サマースクール」)	全国の子どもたちを対象にした夏休み海洋環境教室。海洋生物の水中観察、自然観察、共同生活を体験することで自然保護、環境保全、社会貢献への啓発を行う。 三宅島サマースクール	8月	東京都 三宅島	10名程度	全国の小学5年生～18歳と研修生 25名	1,200
海洋自然教育を通じての自然環境保全事業	B&G葉山海洋クラブ、海の楽校 親子・一般向け海辺の自然体験教室事業 ①親子、子ども対象の海辺の安全教室 ②江の島海洋クラブ交流事業 ③一般向け海の楽校	通年	神奈川県 葉山町、江ノ島	年間50名程度	①親子、一般 100名 ②小学生、大人 50名 ③その他 50名	400
海辺の自然体験活動及び環境教育の指導者養成事業	①海辺の自然体験インストラクター養成事業 ②学校支援リーダー(CONEリーダー)養成講座 ③大学関係海洋教育 ④CONEリーダー養成講座	通年	全国	各2名～10名程度	①学生、一般 約30名 ②大学生、一般 約75名 ③大学生 約20名 ④大学生、一般 約10名	2,200
学校教育への支援、協力ならびに、他の活動団体との連携事業	①小中学校やインターナショナルスクールの磯観察、スノーケリング、海浜授業 ②地域の子ども会海洋教室など ③知的障害者団体の指導、企業の親子自然体験・防災学習など ④教育支援協会主催「ネイチャーキッズ」他	通年	全国	2名～8名程度	①小中学生、教員 約300名 ②小学生、親子 約30名 ③小学生、一般、親子 約100名 ④小中学生 約90名	4,000
啓発活動事業	①葉山町・大浜海岸美化清掃活動 ②各種講演活動 ③セミナー開催(災害支援関係含む) ④葉山まちづくり展、葉山環境フェスタ等でパネル展示等による活動紹介 ⑤ホームページ、メルマガ、季刊誌(年4回)による広報活動	通年	神奈川県・葉山町 全国	各2名～5名程度	不特定多数	100
災害支援事業	①大槌町海の安全教室 ②海森サマースクール ③鳴き砂の浜 海岸清掃 ④ブログによる情報発信	通年	宮城県・気仙沼市、唐桑半島、大槌町	各2名～5名程度	不特定多数	1,000

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
予定なし						